

みやぎ・純米酒の県宣言

30周年記念メッセージ

「我々、宮城県酒造組合員は11月1日を期して、おいしさで定評のある宮城のササニシキ100%の純米酒造りを通じ、いい酒、うまい酒造りに努めることを広くお約束します。」

昭和61年11月1日に発表された、この「みやぎ・純米酒の県」宣言から、おかげさまで30年が経ちました。

美味しい宮城のお米とともに、全国の酒造業界に旋風を巻き起こし、当時ほとんど知られていなかった純米酒が、今では宮城で造られる日本酒の半分を占めるまでになりました。

また酒造りの技の切磋琢磨により、宮城の純米酒の品質の高さ、美味しさは多くの消費者の皆様へ支持されるに至っています。これもひとえに、宮城の純米酒造りに関わって下さるすべての皆様のおかげと深く感謝いたします。

一方近年では、高品質で個性のある純米酒造りが全国的にも広がりを見せ、それに伴い美味しいお米や優れた酒造好適米が次々と開発されてきており、酒造りを取り巻く地域の総合力が試される状況となってきております。

「みやぎ・純米酒の県」宣言から30年の節目を迎えるに当たり、さらに皆様のご協力をいただきながら、よりよい宮城米による、よりよい純米酒造りに一層精進してまいりますことをここに約束します。

平成28年11月4日

宮城県酒造組合